

投資事業評価調書（継続：再々評価）

部課室名	河川整備課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	河川整備課長 佐々木良作 (都市河川係長 糟谷昌俊)	内線	4408 (4417)
------	-------	---------------------	-------------------------------	----	----------------

事業種目	河川	事業採択年度	S55		現計画	再評価時点
事業名	広域一般河川改修事業 (一)加古川水系金剛寺谷川	着工年度	S55	総事業費	45億円	39億円
		再評価年度	H10	内用地補償費	24億円	24億円
事業区間	三木市烏町～平田			完成予定年度	H20	-
所在地	三木市			進捗率 (内用補進捗率)	89%(98%)	66%(77%)

事業の目的

事業内容

<p>当該河川は河積が狭小であり、昭和47年6月台風3号（浸水面積71.5ha、浸水家屋数93戸）では、大規模な浸水被害に見舞われた。</p> <p>このため、当該地域の浸水被害を防止するため、治水安全度1/30を目標に河道拡幅による改修を行い、地域住民の安全・安心な生活環境を確保するものである。</p>	<p>計画流量 $Q = 100\text{m}^3/\text{s}$ (治水安全度1/30：美嚶川合流点)</p> <p>実施内容 $L = 2,462\text{m}$ $W = 19.7\text{m} \sim 13.2\text{m}$ 築堤、護岸、道路橋8橋、鉄道橋1橋、井堰2基等</p>
---	---

進捗状況	<p>昭和55年度に着手し、これまで築堤・掘削・護岸を進め、美嚶川合流点～県道橋下流間の改修を完了した。</p> <p>再評価時点(H10)からH15までに、国道175号から県道橋間の改修を完了させたところであり、今後5年間で残る築堤、掘削、護岸、横断構造物の改築等を行い、平成20年度に事業を完了させる予定である。</p> <p>また、河川整備計画を現在策定中である。</p>
------	---

評価視点	評価結果の説明
------	---------

(1)必要性	<ul style="list-style-type: none"> 三木市街地、鉄道（神戸電鉄）等を浸水被害から守るため、築堤、掘削、護岸、横断構造物の改築等の河川改修工事を実施しており、残区間の治水安全度を早期に向上させるため、継続的な整備を実施する必要がある。 $B / C = 2.4$ 土地区画整理事業との連携により事業用地を確保し、効率的な事業執行を行っている。 道路管理者と連携し、県道橋等の架替を進める。 河川整備計画策定のための流域懇談会を開催しており、事業に対する地域住民の意識が高い。 緩傾斜護岸を採用し、階段護岸を整備するなど、親水性に配慮した改築を行っている。 水際には生態系に配慮した多孔質な接続ブロック等を採用している。 残事業区間には治水上ネックとなる橋梁4橋を残していることから、早期に改築の必要性があり、当事業の優先性は高く、また今後5年以内に事業を完了させることが可能である。
(2)有効性・効率性	
(3)環境適合性	
(4)優先性	

再々評価の結果	事業継続	左の理由	上記理由により、事業継続が妥当である。
---------	------	------	---------------------